【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【公表番号】特表2013-543870(P2013-543870A)
【公表日】平成25年12月9日(2013.12.9)
【年通号数】公開・登録公報2013-066
【出願番号】特願2013-538985(P2013-538985)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/337　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/24　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/519　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/475　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/513　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4745　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/282　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/704　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7048　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/02　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/71　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　19/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　35/00　ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｋ　31/337
Ａ６１Ｋ　33/24
Ａ６１Ｋ　31/519
Ａ６１Ｋ　31/475
Ａ６１Ｋ　31/513
Ａ６１Ｋ　31/4745
Ａ６１Ｋ　31/282
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｎ
Ａ６１Ｋ　31/704
Ａ６１Ｋ　31/7048
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｐ　35/02
Ｃ０７Ｋ　14/71
Ｃ０７Ｋ　19/00

【手続補正書】
【提出日】平成26年11月7日(2014.11.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
線維芽細胞増殖因子受容体１（ＦＧＦＲ１）細胞外ドメイン（ＥＣＤ）、ならびに、ドセタキセル、パクリタキセル、ビンクリスチン、カルボプラチン、シスプラチン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、５－フルオロウラシル（５－ＦＵ）、ロイコボリン、ペメトレキセド、エトポシド、トポテカン、ＶＥＧＦアンタゴニスト、ＶＥＧＦトラップ、抗ＶＥＧＦ抗体、およびベバシズマブ、から選択される少なくとも１つの追加の治療薬の組み合わせを含む、癌治療剤。
【請求項２】
前記ＦＧＦＲ１　ＥＣＤが融合パートナーをさらに含む、請求項１に記載の癌治療剤。
【請求項３】
前記少なくとも１つの追加の治療薬がドセタキセルである、請求項１または２に記載の癌治療剤。
【請求項４】
前記少なくとも１つの追加の治療薬がパクリタキセルである、請求項１または２に記載の癌治療剤。
【請求項５】
前記少なくとも１つの追加の治療薬がシスプラチンである、請求項１または２に記載の癌治療剤。
【請求項６】
前記少なくとも１つの追加の治療薬がペメトレキセドである、請求項１または２に記載の癌治療剤。
【請求項７】
前記少なくとも１つの追加の治療薬がビンクリスチンである、請求項１または２に記載の癌治療剤。
【請求項８】
前記少なくとも１つの追加の治療薬が５－ＦＵである、請求項１または２に記載の癌治療剤。
【請求項９】
前記少なくとも１つの追加の治療薬がトポテカンである、請求項１または２に記載の癌治療剤。
【請求項１０】
ドセタキセル、パクリタキセル、ビンクリスチン、カルボプラチン、シスプラチン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、５－フルオロウラシル（５－ＦＵ）、ロイコボリン、ペメトレキセド、エトポシド、トポテカン、ＶＥＧＦアンタゴニスト、ＶＥＧＦトラップ、抗ＶＥＧＦ抗体、およびベバシズマブ、から選択される少なくとも２つの追加の治療薬を含む、請求項１～９のいずれか１項に記載の癌治療剤。
【請求項１１】
前記少なくとも２つの追加の治療薬の１つが、パクリタキセル、オキサリプラチン、５－ＦＵ、またはベバシズマブである、請求項１０に記載の癌治療剤。
【請求項１２】
前記少なくとも２つの追加の治療薬がパクリタキセルおよびカルボプラチンである、請求項１０に記載の癌治療剤。
【請求項１３】
前記少なくとも２つの追加の治療薬がオキサリプラチンおよび５－ＦＵである、請求項１０に記載の癌治療剤。
【請求項１４】
前記少なくとも２つの追加の治療薬がドキソルビシンおよびパクリタキセルである、請

求項１０に記載の癌治療剤。
【請求項１５】
前記少なくとも２つの追加の治療薬が５－ＦＵおよびロイコボリンである、請求項１０に記載の癌治療剤。
【請求項１６】
前記少なくとも２つの追加の治療薬がベバシズマブおよび５－ＦＵである、請求項１０に記載の癌治療剤。
【請求項１７】
前記少なくとも２つの追加の治療薬がシスプラチンおよびエトポシドである、請求項１０に記載の癌治療剤。
【請求項１８】
前記ＦＧＦＲ１　ＥＣＤが、配列番号１～４から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項１～１７のいずれか１項に記載の癌治療剤。
【請求項１９】
前記ＦＧＦＲ１　ＥＣＤが融合パートナーをさらに含み、該融合パートナーがＦｃである、請求項２～１８のいずれか１項に記載の癌治療剤。
【請求項２０】
前記ＦＧＦＲ１　ＥＣＤおよびＦｃが、配列番号５および配列番号６から選択される配列を含む、請求項１９に記載の癌治療剤。
【請求項２１】
（ｉ）線維芽細胞増殖因子受容体１（ＦＧＦＲ１）細胞外ドメイン（ＥＣＤ）、（ｉｉ）線維芽細胞増殖因子受容体１（ＦＧＦＲ１）細胞外ドメイン（ＥＣＤ）融合分子、ならびに（ｉｉｉ）ドセタキセル、パクリタキセル、ビンクリスチン、カルボプラチン、シスプラチン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、５－フルオロウラシル（５－ＦＵ）、ロイコボリン、エトポシド、トポテカン、ＶＥＧＦアンタゴニスト、ＶＥＧＦトラップ、抗ＶＥＧＦ抗体、およびペメトレキセドから選択される少なくとも１つの追加の治療薬、から選択される少なくとも１つの成分を含むドーズパックであって、ＦＧＦＲ１　ＥＣＤおよび／またはＦＧＦＲ１　ＥＣＤ融合分子ならびに前記少なくとも１つの追加の治療薬を患者に投与するための使用説明書をさらに含む、ドーズパック。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
本明細書記載のいずれかの実施形態またはそれらの追加の治療薬のいずれかの組み合わせは、本明細書記載の発明の方法のいずれかまたは全てに適用できる。
[本発明1001]
線維芽細胞増殖因子受容体1（ＦＧＦＲ1）細胞外ドメイン（ＥＣＤ）、ならびに、ドセタキセル、パクリタキセル、ビンクリスチン、カルボプラチン、シスプラチン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、5－フルオロウラシル（5－ＦＵ）、ロイコボリン、ペメトレキセド、エトポシド、トポテカン、ＶＥＧＦアンタゴニスト、ＶＥＧＦトラップ、抗ＶＥＧＦ抗体、およびベバシズマブ、から選択される少なくとも1つの追加の治療薬を対象に投与する工程を含む、癌の治療方法。
[本発明1002]
前記ＦＧＦＲ1　ＥＣＤが融合パートナーをさらに含む、本発明1001の方法。
[本発明1003]
前記少なくとも1つの追加の治療薬がドセタキセルである、本発明1001または1002の方法。
[本発明1004]

前記少なくとも1つの追加の治療薬がパクリタキセルである、本発明1001または1002の方法。
[本発明1005]
前記少なくとも1つの追加の治療薬がシスプラチンである、本発明1001または1002の方法。
[本発明1006]
前記少なくとも1つの追加の治療薬がペメトレキセドである、本発明1001または1002の方法。
[本発明1007]
前記少なくとも1つの追加の治療薬がビンクリスチンである、本発明1001または1002の方法。
[本発明1008]
前記少なくとも1つの追加の治療薬が5－ＦＵである、本発明1001または1002の方法。
[本発明1009]
前記少なくとも1つの追加の治療薬がトポテカンである、本発明1001または1002の方法。
[本発明1010]
ドセタキセル、パクリタキセル、ビンクリスチン、カルボプラチン、シスプラチン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、5－フルオロウラシル（5－ＦＵ）、ロイコボリン、ペメトレキセド、エトポシド、トポテカン、ＶＥＧＦアンタゴニスト、ＶＥＧＦトラップ、抗ＶＥＧＦ抗体、およびベバシズマブ、から選択される少なくとも2つの追加の治療薬を前記対象に投与する工程を含む、本発明1001～1009のいずれかの方法。
[本発明1011]
前記少なくとも2つの追加の治療薬の1つが、パクリタキセル、オキサリプラチン、5－ＦＵ、またはベバシズマブである、本発明1010の方法。
[本発明1012]
前記少なくとも2つの追加の治療薬がパクリタキセルおよびカルボプラチンである、本発明1010の方法。
[本発明1013]
前記少なくとも2つの追加の治療薬がオキサリプラチンおよび5－ＦＵである、本発明1010の方法。
[本発明1014]
前記少なくとも2つの追加の治療薬がドキソルビシンおよびパクリタキセルである、本発明1010の方法。
[本発明1015]
前記少なくとも2つの追加の治療薬が5－ＦＵおよびロイコボリンである、本発明1010の方法。
[本発明1016]
前記少なくとも2つの追加の治療薬がベバシズマブおよび5－ＦＵである、本発明1010の方法。
[本発明1017]
前記少なくとも2つの追加の治療薬がシスプラチンおよびエトポシドである、本発明1010の方法。
[本発明1018]
前記ＦＧＦＲ1　ＥＣＤが、配列番号1～4から選択されるアミノ酸配列を含む、本発明1001～1017のいずれかの方法。
[本発明1019]
前記ＦＧＦＲ1　ＥＣＤが融合パートナーをさらに含み、該融合パートナーがＦｃである、本発明1002～1018のいずれかの方法。
[本発明1020]

前記ＦＧＦＲ1　ＥＣＤおよびＦｃが、配列番号5および配列番号6から選択される配列を含む、本発明1019の方法。

[本発明1021]

（ｉ）線維芽細胞増殖因子受容体1（ＦＧＦＲ1）細胞外ドメイン（ＥＣＤ）、（ｉｉ）線維芽細胞増殖因子受容体1（ＦＧＦＲ1）細胞外ドメイン（ＥＣＤ）融合分子、ならびに（ｉｉｉ）ドセタキセル、パクリタキセル、ビンクリスチン、カルボプラチン、シスプラチン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、5－フルオロウラシル（5－ＦＵ）、ロイコボリン、エトポシド、トポテカン、ＶＥＧＦアンタゴニスト、ＶＥＧＦトラップ、抗ＶＥＧＦ抗体、およびペメトレキセドから選択される少なくとも1つの追加の治療薬、から選択される少なくとも1つの成分を含むドーズパックであって、ＦＧＦＲ1　ＥＣＤおよび／またはＦＧＦＲ1　ＥＣＤ融合分子ならびに前記少なくとも1つの追加の治療薬を患者に投与するための使用説明書をさらに含む、ドーズパック。

[本発明1022]

癌の治療における使用のための、線維芽細胞増殖因子受容体1（ＦＧＦＲ1）細胞外ドメイン（ＥＣＤ）と、ドセタキセル、パクリタキセル、ビンクリスチン、カルボプラチン、シスプラチン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、5－フルオロウラシル（5－ＦＵ）、ロイコボリン、ペメトレキセド、エトポシド、トポテカン、およびベバシズマブ、から選択される少なくとも1つの追加の治療薬との組み合わせ。

[本発明1023]

癌の治療における使用のための、線維芽細胞増殖因子受容体1（ＦＧＦＲ1）細胞外ドメイン（ＥＣＤ）と、ドセタキセル、パクリタキセル、ビンクリスチン、カルボプラチン、シスプラチン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、5－フルオロウラシル（5－ＦＵ）、ロイコボリン、ペメトレキセド、エトポシド、トポテカン、ＶＥＧＦアンタゴニスト、ＶＥＧＦトラップ、抗ＶＥＧＦ抗体、およびベバシズマブから選択される少なくとも2つの追加の治療薬との組み合わせ。